Ⅱ　米に関する各種指標

1. 集出荷段階の動向

（１）相対取引価格・数量

①　相対取引価格（平成23年産米の主な産地銘柄別、平成24年1月）（速報）

（単位：円/玄米60kg）

産地		品種銘柄	（地域区分）	24年1月 ①	【参考】 23年12月 ②	対前月比 ①/②	23年1月（22年産） ③	対前年同期比 ①/③
北海道	北海道	きらら397		14,124	14,146	(100%)	11,365	(124%)
	北海道	ななつぼし		14,397	14,039	(103%)	11,449	(126%)
東北	青森	つがるロマン		13,672	13,711	(100%)	11,230	(122%)
	青森	まっしぐら		13,589	13,323	(102%)	10,613	(128%)
	岩手	ひとめぼれ		14,311	14,284	(100%)	12,006	(119%)
	岩手	あきたこまち		14,345	14,425	(99%)	11,978	(120%)
	宮城	ひとめぼれ		14,753	14,496	(102%)	12,096	(122%)
	宮城	ササニシキ		14,648	14,916	(98%)	12,313	(119%)
	秋田	あきたこまち		15,289	15,121	(101%)	12,382	(123%)
	山形	はえぬき		14,294	14,426	(99%)	11,836	(121%)
	福島	コシヒカリ	会津	―	15,891	―	13,597	―
	福島	コシヒカリ	中通り	―	14,537	―	12,672	―
	福島	コシヒカリ	浜通り	―	―	―	12,744	―
	福島	ひとめぼれ		13,890	13,820	(101%)	11,489	(121%)
関東・東山	茨城	コシヒカリ		15,533	15,940	(97%)	13,096	(119%)
	栃木	コシヒカリ		15,457	15,660	(99%)	12,730	(121%)
	埼玉	彩のかがやき		14,176	14,136	(100%)	11,934	(119%)
	千葉	コシヒカリ		15,767	15,944	(99%)	12,909	(122%)
	長野	コシヒカリ		15,907	15,873	(100%)	13,574	(117%)
北陸	新潟	コシヒカリ	一般	18,760	18,512	(101%)	15,587	(120%)
	新潟	コシヒカリ	魚沼	―	23,532	―	21,769	―
	新潟	コシヒカリ	佐渡	―	―	―	16,174	―
	新潟	コシヒカリ	岩船	―	―	―	15,987	―
	富山	コシヒカリ		16,021	16,147	(99%)	13,788	(116%)
	石川	コシヒカリ		―	16,215	―	13,334	―
	福井	コシヒカリ		16,102	16,067	(100%)	13,089	(123%)
	福井	ハナエチゼン		14,704	14,700	(100%)	12,036	(122%)
東海・近畿	三重	コシヒカリ	一般	―	15,474	―	13,075	―
	滋賀	コシヒカリ		16,068	15,905	(101%)	13,215	(122%)
	滋賀	キヌヒカリ		―	15,211	―	11,844	―
	兵庫	コシヒカリ		―	15,822	―	13,756	―
中国・四国	鳥取	コシヒカリ		―	―	―	12,959	―
	島根	コシヒカリ		15,813	15,795	(100%)	13,366	(118%)
	広島	コシヒカリ		15,025	15,024	(100%)	―	―
	山口	コシヒカリ		15,365	―	―	12,824	(120%)
	徳島	コシヒカリ		―	―	―	12,728	―
	香川	ヒノヒカリ		14,645	14,581	(100%)	11,453	(128%)
	高知	コシヒカリ		―	―	―	―	―
九州	福岡	ヒノヒカリ		14,553	14,526	(100%)	12,177	(120%)
	佐賀	夢しずく		―	14,526	―	―	―
	熊本	ヒノヒカリ		―	15,006	―	―	―
	大分	ヒノヒカリ		―	15,376	―	12,175	―
	宮崎	コシヒカリ		―	―	―	―	―
	鹿児島	ヒノヒカリ		―	―	―	―	―
全銘柄平均価格				15,273	15,233	(100%)	12,710	(120%)

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：相対取引価格は、ア 全国出荷団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約（数量と価格が決定した時点を基準としている。）の価格（運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。）であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。その際、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

2：また、相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等（栽培方法等）の価格調整が行われることがある。

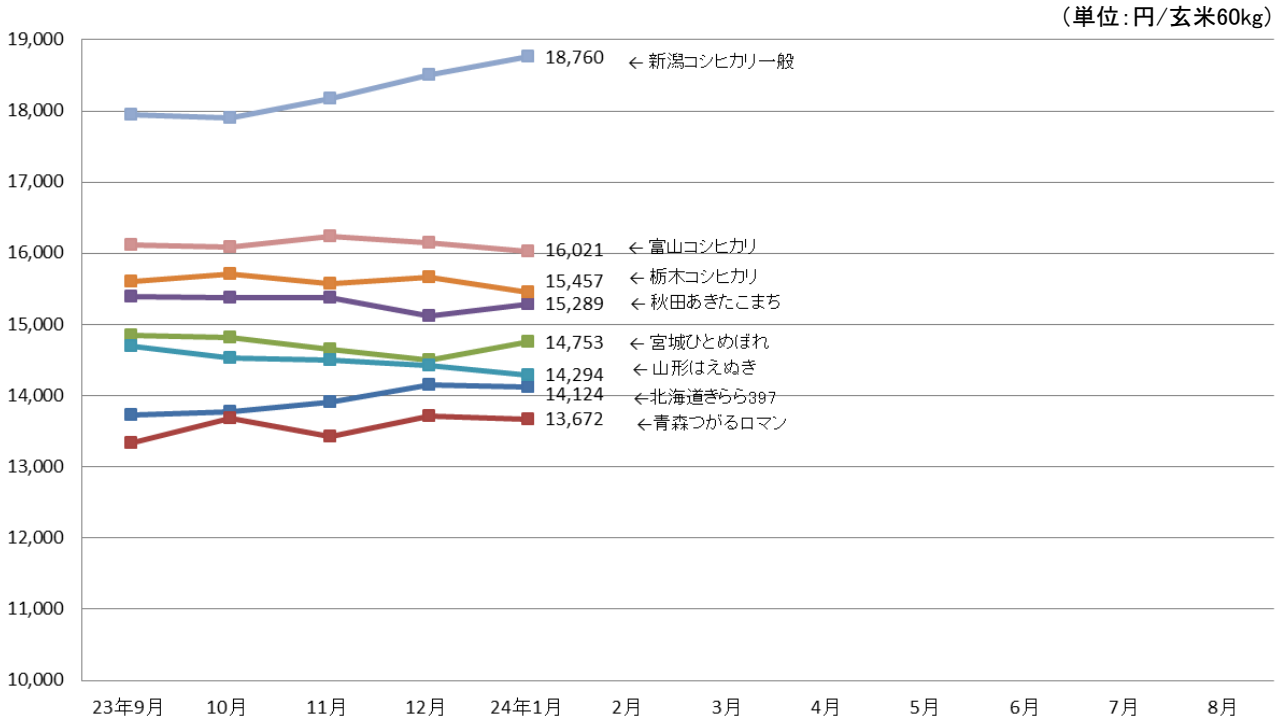
3：産地銘柄は、ア 22年産の公表対象産地銘柄が存在した道府県における当該産地銘柄、又はイ ア以外の道府県における22年産の検査数量の最も多かった1銘柄のうち、22年産の農産物検査受検数量原則15,000トン以上のものであり、月1,000トン以上の取引があったものである。

4：全銘柄平均価格は、報告対象産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

5：23年1月は22年産の価格である。

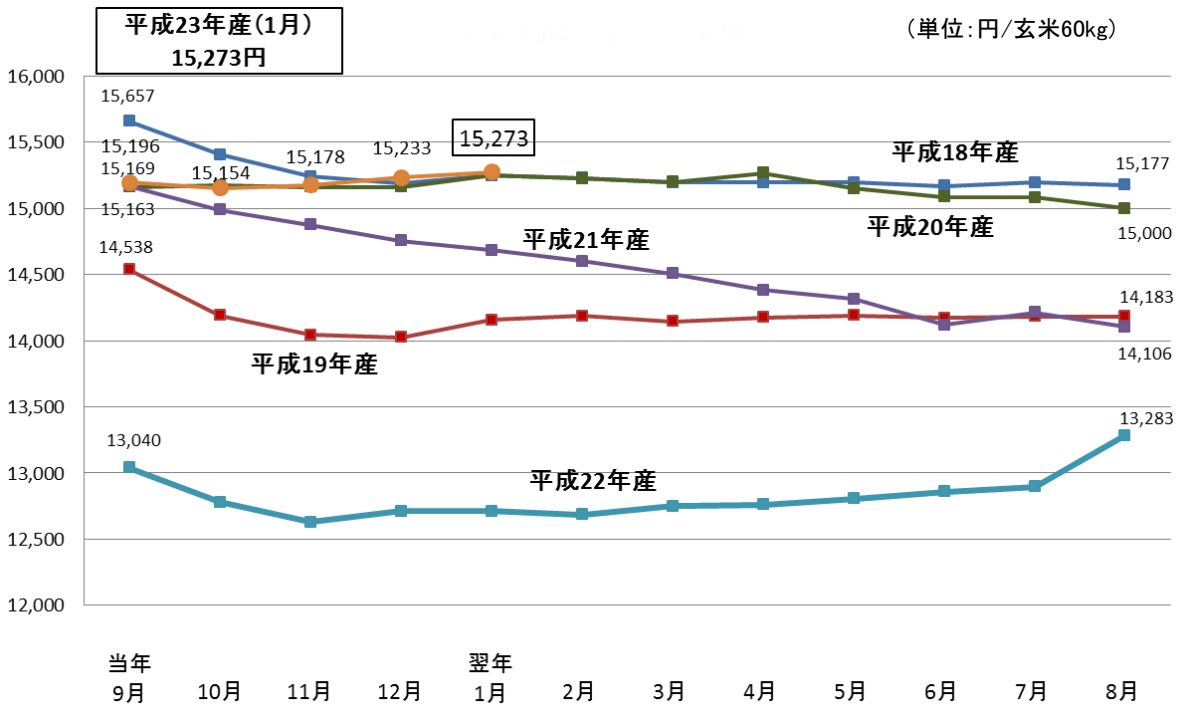
6：23年産については速報値である。

②　相対取引価格の推移（主な産地銘柄別、平成23年産米）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注1：相対取引価格に関する留意点については、①の注釈を参照。
　2：月間の取引量が1,000トン未満となった産地銘柄については、当該月の価格は上表に掲載していない。

③　相対取引価格（年産別）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注：相対取引価格に関する留意点については、①の注釈を参照。

④ 相対取引数量

（累積数量、平成23年産米の主な産地銘柄別、平成24年1月）（速報）

（単位：玄米トン）

産地		品種銘柄	（地域区分）	23年産（24年1月まで）①	（前年比）①/②	（前々年比）①/③	22年産（23年1月まで）②	21年産（22年1月まで）③
北海道	北海道	きらら397		100,113	(109%)	(222%)	91,762	45,060
	北海道	ななつぼし		137,581	(145%)	(269%)	94,778	51,130
東北	青森	つがるロマン		32,523	(144%)	(91%)	22,516	35,902
	青森	まっしぐら		49,763	(384%)	(206%)	12,971	24,122
	岩手	ひとめぼれ		100,092	(193%)	(302%)	51,814	33,102
	岩手	あきたこまち		24,724	(128%)	(410%)	19,264	6,034
	宮城	ひとめぼれ		102,525	(168%)	(233%)	61,008	43,981
	宮城	ササニシキ		10,335	(138%)	(244%)	7,479	4,234
	秋田	あきたこまち		129,714	(89%)	(166%)	145,217	78,282
	山形	はえぬき		57,058	(153%)	(141%)	37,394	40,414
	福島	コシヒカリ	会津	8,785	(26%)	(106%)	33,754	8,284
	福島	コシヒカリ	中通り	10,273	(48%)	(74%)	21,601	13,819
	福島	コシヒカリ	浜通り	181	(1%)	(3%)	14,457	6,117
	福島	ひとめぼれ		10,116	(28%)	(49%)	35,805	20,438
関東・東山	茨城	コシヒカリ		41,047	(94%)	(192%)	43,548	21,330
	栃木	コシヒカリ		78,768	(87%)	(148%)	90,768	53,107
	埼玉	彩のかがやき		8,223	(530%)	(149%)	1,552	5,511
	千葉	コシヒカリ		33,177	(86%)	(155%)	38,444	21,411
	長野	コシヒカリ		31,147	(66%)	(159%)	47,315	19,560
北陸	新潟	コシヒカリ	一般	75,212	(71%)	(137%)	106,267	54,882
	新潟	コシヒカリ	魚沼	19,117	(139%)	(172%)	13,782	11,122
	新潟	コシヒカリ	佐渡	11,827	(86%)	(135%)	13,740	8,734
	新潟	コシヒカリ	岩船	8,742	(74%)	(120%)	11,848	7,293
	富山	コシヒカリ		77,619	(105%)	(232%)	73,874	33,484
	石川	コシヒカリ		9,794	(101%)	(143%)	9,688	6,849
	福井	コシヒカリ		17,388	(134%)	(134%)	13,006	12,957
	福井	ハナエチゼン		10,414	(64%)	(72%)	16,154	14,434
東海・近畿	三重	コシヒカリ	一般	12,583	(78%)	(150%)	16,187	8,407
	滋賀	コシヒカリ		15,083	(69%)	(131%)	21,746	11,520
	滋賀	キヌヒカリ		6,512	(79%)	(77%)	8,200	8,442
	兵庫	コシヒカリ		6,993	(106%)	(138%)	6,569	5,050
中国・四国	鳥取	コシヒカリ		3,959	(54%)	(59%)	7,396	6,726
	島根	コシヒカリ		12,152	(108%)	(134%)	11,235	9,046
	広島	コシヒカリ		6,972	(54%)	(62%)	12,922	11,218
	山口	コシヒカリ		7,597	(99%)	(152%)	7,658	4,987
	徳島	コシヒカリ		8,877	(87%)	(81%)	10,145	10,929
	香川	ヒノヒカリ		4,956	(155%)	(105%)	3,196	4,710
	高知	コシヒカリ		4,520	(105%)	(84%)	4,298	5,395
九州	福岡	ヒノヒカリ		13,207	(136%)	(136%)	9,740	9,720
	佐賀	夢しずく		8,794	(224%)	(109%)	3,933	8,073
	熊本	ヒノヒカリ		3,912	(171%)	(85%)	2,288	4,576
	大分	ヒノヒカリ		4,505	(117%)	(114%)	3,852	3,949
	宮崎	コシヒカリ		6,179	(94%)	(52%)	6,541	11,900
	鹿児島	ヒノヒカリ		2,957	(552%)	(97%)	536	3,034
全銘柄合計契約数量				1,674,507	(110%)	(159%)	1,517,737	1,053,043

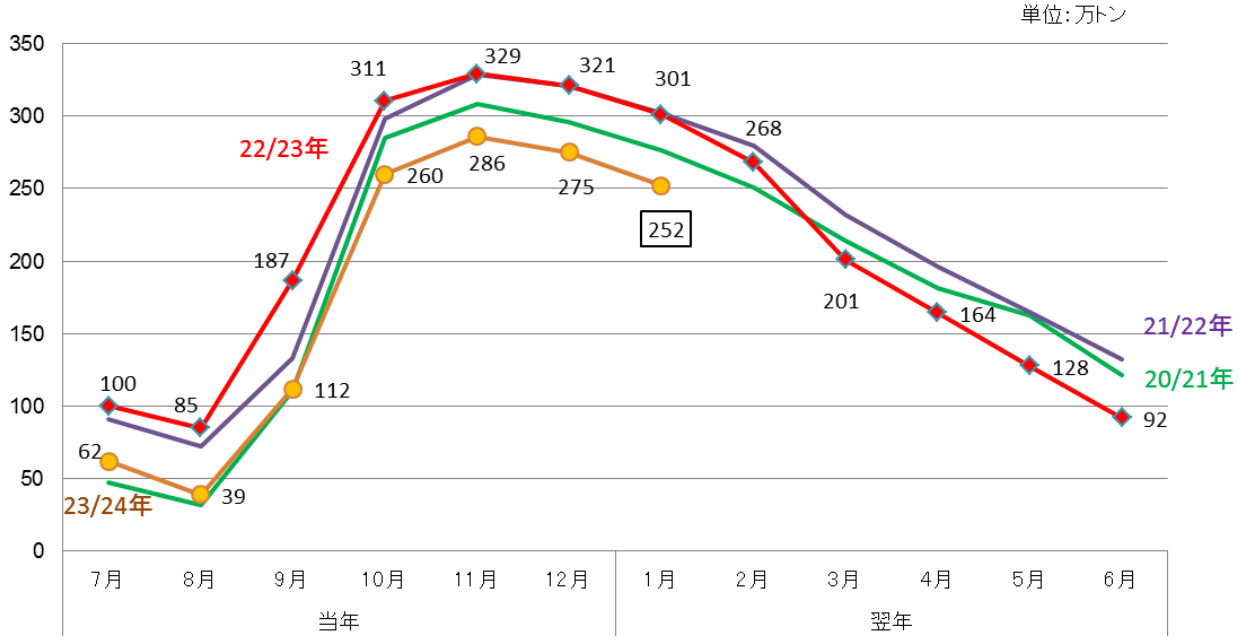
資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：相対取引数量は、ア 全国団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者が、卸売業者等と主食用の相対取引契約（数量と価格が決定した時点を基準としている。）を行った数量である。なお、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本の産地銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

2：産地銘柄は、ア 22年産の公表対象産地銘柄が存在した道府県における当該産地銘柄、又はイ ア以外の道府県における22年産の検査数量の最も多かった1銘柄のうち、22年産の農産物検査受検数量原則15,000トン以上のもの。

3：全銘柄合計契約数量は、農林水産省が公表している相対取引価格の報告対象銘柄の契約数量の合計。

（２）民間在庫（出荷段階）の推移



（単位：万トン）

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	平均
20/21年	47	32	111	285	308	296	277	251	214	182	163	121	191
21/22年	91	73	133	299	328	321	303	279	232	197	165	132	213
対前年差	+44	+41	+22	+14	+20	+25	+26	+28	+18	+15	+2	+11	+22
22/23年	100	85	187	311	329	321	301	268	201	164	128	92	207
対前年差	+9	+12	+54	+12	+1	▲0	▲1	▲11	▲31	▲32	▲37	▲40	▲5
23/24年	62	39	112	260	286	275	252						184
対前年差	▲38	▲46	▲75	▲51	▲43	▲46	▲49						▲23

資料：農林水産省「米麦の出荷又は販売の事業を行う者等の流通状況調査」（～20年７月）、農林水産省「米穀の取引に関する報告徴収」（20年８月～）
注１：水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米の月末在庫量（玄米換算）の値である。
２：米穀の出荷の事業を行う者であって、年間の玄米取扱数量が500トン以上の者の値である。
３：期間については、22/23年であれば、22年７月～23年６月である。
４：22/23年７月末以降は、速報値である。
５：23年３月以降の値は、東日本大震災の影響により一部見込みが含まれている。
６：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

（３）23年産米相対取引基準価格（全農）の推移
（全農公表資料をもとに農林水産省において算出）

（円/60kg、建値：基準地着、1等、包装代・消費税込み）

期間	相対取引基準価格（全農）	相対取引価格（農林水産省）
23年 8/8～	15,912 (1)	非公表
8/15～	15,408 (2)	
8/22～	15,584 (5)	
8/29～	16,120 (11)	
9/5～	16,006 (19)	15,196 (84)
9/12～	16,848 (29)	
9/20～	16,638 (32)	
9/26～	16,101 (43)	
10/3～	15,887 (56)	15,154 (108)
10/11～	15,887 (56)	
10/17～	15,888 (56)	
10/24～	15,884 (57)	
10/31～	15,884 (57)	
11/7～	16,032 (57)	15,178 (106)
11/14～	16,032 (57)	
11/21～	16,032 (57)	
11/28～	16,032 (57)	
12/5～	16,032 (57)	15,233 (107)
12/12～	16,032 (57)	
12/19～	16,032 (57)	
12/26～	16,032 (57)	
24年 1/10～	16,032 (57)	15,273 (107)
1/16～	16,065 (57)	
1/23～	16,065 (57)	
1/30～	16,009 (57)	
2/6～	16,009 (57)	－
2/13～	16,009 (57)	
2/20～	16,009 (57)	
2/27～	16,009 (57)	

注1：相対取引基準価格（全農）は、全農が公表している全産地銘柄の相対取引基準価格を基に、農林水産省において、消費税及び包装代（154円/60kg）を加算し、前年産の検査数量ウエイトを用いて加重平均したもの。
2：相対取引基準価格（全農）の欄の括弧内の数字は、全農が公表している相対取引基準価格の産地銘柄数。
3：相対取引価格（農林水産省）の欄の括弧内の数字は、農林水産省が公表している相対取引価格の全銘柄平均価格の算出に用いた産地銘柄数。

（４）産地銘柄別概算金の設定状況

①　全農系統の22年産の概算金

（単位：円/60kg、1等・包装込み）

産地銘柄		22年産概算金（当初）①	21年産概算金（当初）②	前年産との差額 ①－②	産地銘柄		22年産概算金（当初）①	21年産概算金（当初）②	前年産との差額 ①－②
北海道	きらら397	10,000	11,000	−1,000	新潟	コシヒカリ（一般）	12,300	13,700	−1,400
青森	つがるロマン	8,500	11,400	−2,900	新潟	コシヒカリ（魚沼）	16,500	18,700	−2,200
岩手	ひとめぼれ	8,700	12,300	−3,600	富山	コシヒカリ	11,000	13,000	−2,000
宮城	ひとめぼれ	8,700	12,300	−3,600	石川	コシヒカリ	10,400	12,350	−1,950
秋田	あきたこまち	9,000	12,300	−3,300	福井	ハナエチゼン	9,000	10,500	−1,500
山形	はえぬき	9,000	12,300	−3,300	三重	コシヒカリ（一般）	10,000	12,100	−2,100
福島	コシヒカリ（会津）	10,000	12,400	−2,400	滋賀	コシヒカリ	10,000	12,000	−2,000
福島	コシヒカリ（中通り）	9,400	12,000	−2,600	鳥取	コシヒカリ	10,500	12,500	−2,000
茨城	コシヒカリ	10,000	12,000	−2,000	島根	コシヒカリ	10,700	12,800	−2,100
栃木	コシヒカリ	10,000	12,100	−2,100	山口	コシヒカリ	10,020	12,000	−1,980
埼玉	コシヒカリ	9,500	12,000	−2,500	香川	コシヒカリ	9,900	12,000	−2,100
千葉	コシヒカリ	10,000	12,000	−2,000	福岡	夢つくし	10,800	12,600	−1,800
長野	コシヒカリ	10,360	12,160	−1,800	熊本	ヒノヒカリ	9,540	12,300	−2,760

注１：業界紙等の情報を基に農林水産省で取りまとめたものである。
　２：概算金はあくまで内金であり、最終的に販売価格が確定した段階で精算払が行われるものであることに注意が必要。また、販売状況を見ながら概算金の追加払を行うところもある。

②　全集連系統の22年産の概算金

（単位：円/60kg、1等・包装込み）

産地銘柄		22年産概算金（当初）①	21年産概算金（当初）②	前年産との差額 ①－②	産地銘柄		22年産概算金（当初）①	21年産概算金（当初）②	前年産との差額 ①－②
北海道	きらら397	10,000	11,000	−1,000	埼玉	コシヒカリ	9,500	12,000	−2,500
青森	つがるロマン	8,500	11,400	−2,900	千葉	コシヒカリ	10,000	12,500	−2,500
岩手	ひとめぼれ	8,700	12,300	−3,600	長野	コシヒカリ	10,360	12,160	−1,800
宮城	ひとめぼれ	8,700	12,300	−3,600	新潟	コシヒカリ（一般）	12,300	13,700	−1,400
秋田	あきたこまち	9,000	12,300	−3,300	新潟	コシヒカリ（魚沼）	16,500	18,700	−2,200
山形	はえぬき	9,000	12,300	−3,300	滋賀	コシヒカリ	10,000	12,000	−2,000
福島	コシヒカリ（会津）	10,000	12,400	−2,400	島根	コシヒカリ	10,700	12,800	−2,100
福島	コシヒカリ（中通り）	9,400	12,000	−2,600	福岡	夢つくし	10,800	12,600	−1,800
茨城	コシヒカリ	10,000	12,000	−2,000	熊本	ヒノヒカリ	9,540	12,300	−2,760
栃木	コシヒカリ	10,000	12,100	−2,100					

注１：業界紙等の情報を基に農林水産省で取りまとめたものである。
　２：概算金はあくまで内金であり、最終的に販売価格が確定した段階で精算払が行われるものであることに注意が必要。また、販売状況を見ながら概算金の追加払を行うところもある。

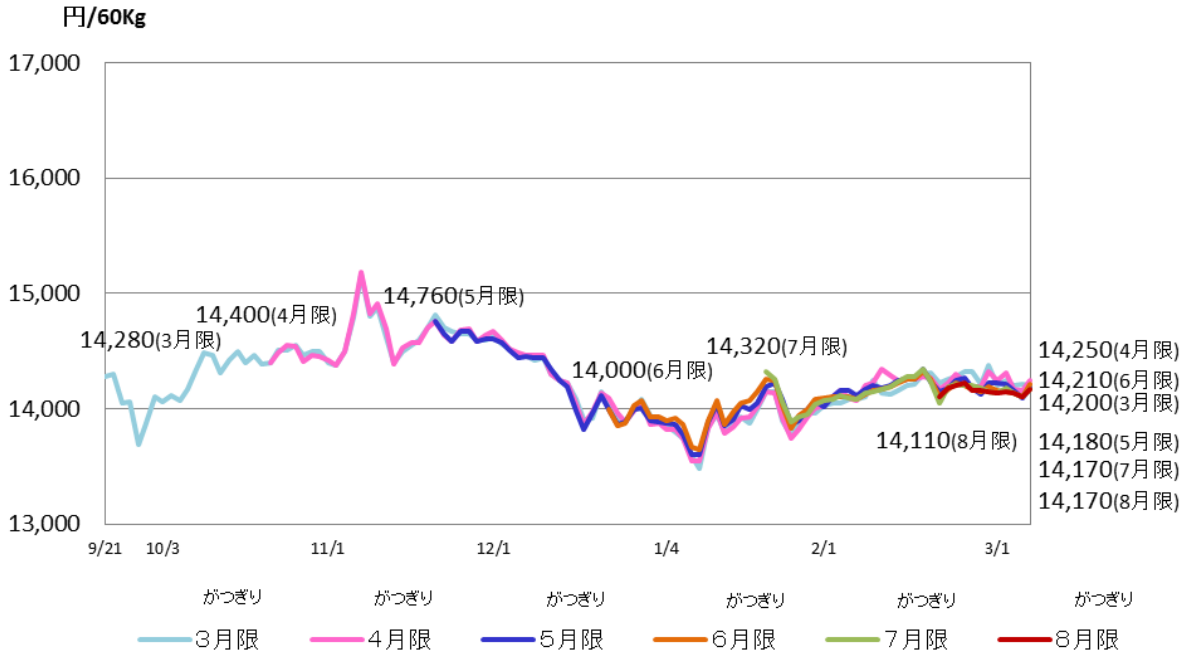
（５）（株）加工用米取引センターの取引結果

取引日	商品名	終値
12月20日（火曜日）	23年秋田あきたこまち玄米（主食用）	14,800円/60kg（247円/kg）

資料：㈱加工用米取引センターHP

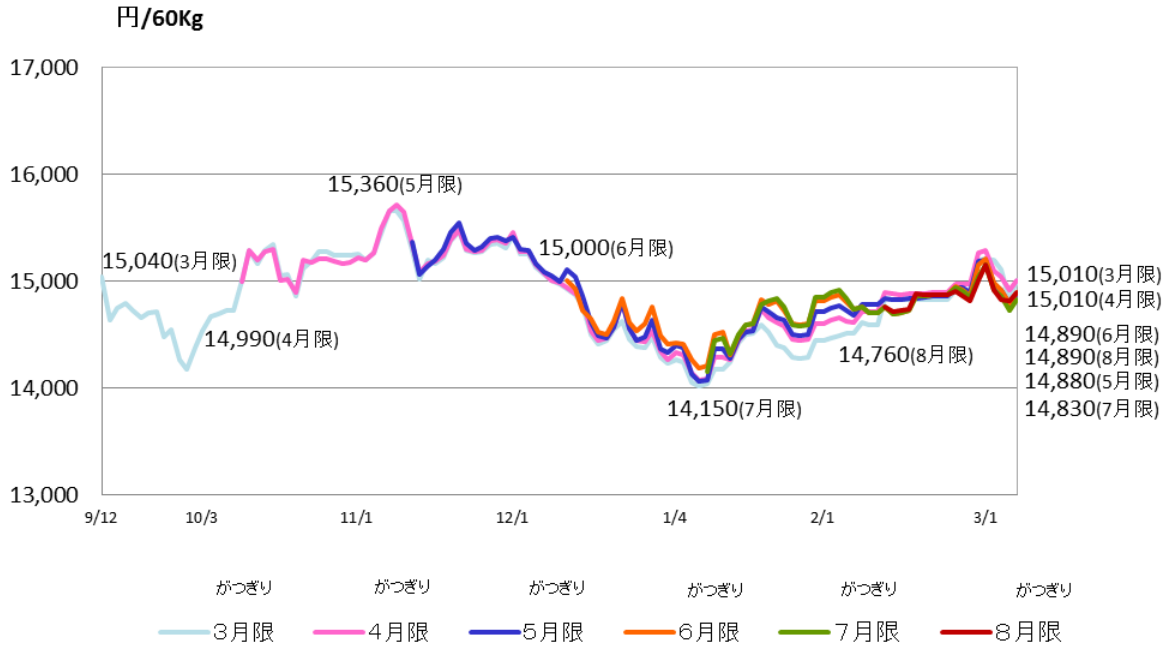
（６）米の先物取引価格の推移

①東京穀物商品取引所



出典：東京穀物商品取引所
注：取引開始から3月7日日中取引終了までの価格の推移である。

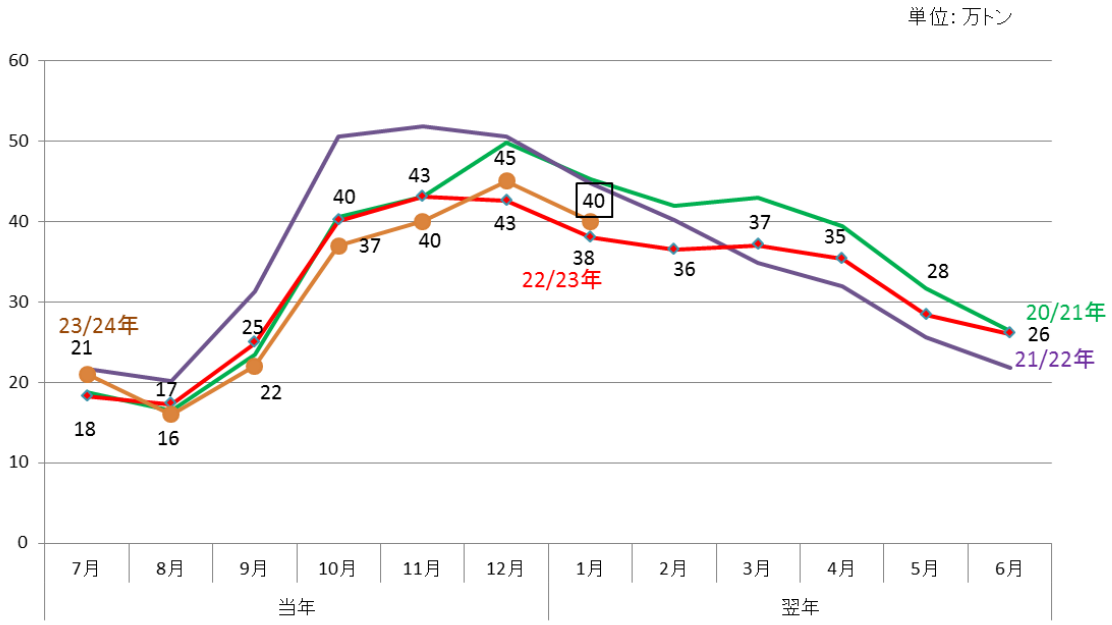
②関西商品取引所



出典：関西商品取引所
注：取引開始から3月7日後場第３節までの価格の推移である。

２．卸売段階の動向

（１）民間在庫（販売段階）の推移



（単位：万トン）

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	平均
20/21年	19	17	23	41	43	50	45	42	43	39	32	26	35
21/22年	22	20	31	51	52	51	45	40	35	32	26	22	35
対前年差	+3	+4	+8	+10	+9	+1	▲0	▲2	▲8	▲7	▲6	▲5	±0
22/23年	18	17	25	40	43	43	38	36	37	35	28	26	32
対前年差	▲3	▲3	▲6	▲11	▲9	▲8	▲7	▲4	+2	+3	+3	+4	▲3
23/24年	21	16	22	37	40	45	40						32
対前年差	+3	▲1	▲3	▲3	▲3	+2	+2						±0

資料：農林水産省「米麦の出荷又は販売の事業を行う者等の流通状況調査」（～20年７月）
　　農林水産省「米穀の取引に関する報告」（20年８月～）
注１：水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米の月末在庫量（玄米換算）の値である。
　２：米穀の販売の事業を行う者であって、年間の玄米取扱数量が4,000トン以上の者の値である。
　３：期間については、22/23年であれば、22年７月～23年６月である。
　４：22/23年７月以降の値は、速報値である。
　５：23年３月以降の値は、東日本大震災の影響により一部見込みが含まれている。
　６：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

（２）業者間取引の状況

①　日本コメ市場（随時取引の結果）

○　価格は、主にスポット取引の価格であり、相当期間にわたり安定的に行う取引の価格とは性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。

関東到着基準、1等、包装代込、税抜き、円/60kg

年産・産地銘柄		9月下期	10月上期	10月下期	11月上期	11月下期	12月上期	12月下期	1月上期	1月下期	2月上期	2月下期
23年産	北海道きらら397	－	－	13,903	13,992	－	14,000	－	－	－	－	－
23年産	青森つがるロマン	13,461	13,825	13,678	13,835	13,884	－	－	－	－	－	－
23年産	秋田あきたこまち	15,333	15,096	15,233	15,437	15,294	15,427	15,466	15,523	15,483	15,479	15,679
23年産	宮城ひとめぼれ	－	－	－	－	－	－	14,320	－	14,805	14,726	－
23年産	福島中通りコシヒカリ	－	－	－	14,262	－	－	－	－	－	13,979	－
23年産	茨城コシヒカリ	14,658	－	14,878	－	－	－	14,873	－	15,274	15,390	－
23年産	栃木コシヒカリ	14,545	14,725	14,803	14,857	－	14,931	－	14,938	15,249	15,750	15,481
23年産	新潟コシヒカリ	17,597	17,941	18,021	18,614	－	－	－	－	18,758	－	－

出典：日本コメ市場株式会社HP
注1：随時取引とは、取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引である。
2：上記価格は、日本コメ市場㈱の取引における成約価格を取引数量により加重平均したものである。
3：上期は、1日から15日まで、下期は、16日から月末までを示す。
4：「－」に関しては、成約数量が日本コメ市場の内部規程で定める基準を満たさなかったため非公表。

②　日本コメ市場・クリスタルライス（取引会の結果）
（主たる銘柄の成約状況）

（単位：円/俵、トン）

年産・産地銘柄		平成23年度											
		第1回 5月12日		第2回 7月14日		第3回 9月8日		第4回 10月13日		第5回 12月8日		第6回 1月12日	
		成約価格	(成約数量)	成約価格	(成約数量)	成約価格	(成約数量)	成約価格	(成約数量)	成約価格	(成約数量)	成約価格	(成約数量)
22年産	青森まっしぐら	13,010	(60)	15,736	(35)	－	－	－	－	－	－	－	－
22年産	宮城ササニシキ	－	－	15,000	(60)	－	－	－	－	－	－	－	－
22年産	秋田あきたこまち	17,180	(65)	19,600	(12)	－	－	－	－	－	－	－	－
22年産	福島ひとめぼれ	14,166	(27)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
22年産	福島コシヒカリ（中通り）	17,644	(29)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
22年産	茨城コシヒカリ	17,089	(56)	17,350	(24)	－	－	－	－	－	－	－	－
23年産	北海道ななつぼし	－	－	－	－	－	－	13,871	(161)	－	－	－	－
23年産	宮城ひとめぼれ	－	－	－	－	－	－	－	－	14,394	(85)	－	－
23年産	秋田あきたこまち	－	－	－	－	－	－	15,159	(75)	15,375	(136)	15,533	(144)
23年産	山形はえぬき	－	－	－	－	－	－	－	－	14,494	(190)	14,725	(62)
23年産	茨城コシヒカリ	－	－	－	－	14,700	(50)	14,807	(63)	15,070	(167)	14,871	(74)
23年産	茨城あきたこまち	－	－	－	－	14,050	(60)	－	－	－	－	－	－
23年産	千葉コシヒカリ	－	－	－	－	－	－	－	－	15,293	(180)	15,303	(94)
23年産	千葉ふさおとめ	－	－	－	－	14,100	(37)	－	－	－	－	－	－
23年産	千葉ふさこがね	－	－	－	－	－	－	14,238	(109)	－	－	－	－
23年産	新潟一般コシヒカリ	－	－	－	－	－	－	17,949	(44)	－	－	18,750	(96)
23年産	福井ハナエチゼン	－	－	－	－	14,813	(50)	－	－	－	－	－	－
成約米穀の平均価格（加重平均）		14,777	(1,087)	16,072	(433)	14,379	(404)	14,536	1,039	14,950	(1,240)	15,572	(1,047)

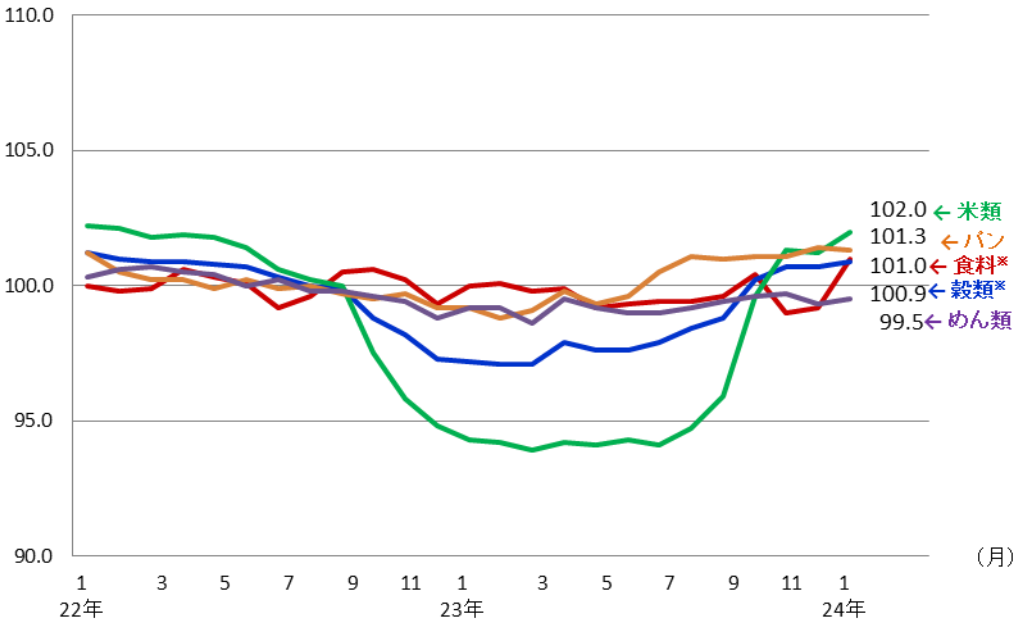
出典：日本コメ市場株式会社のHP
注１：取引会における取引は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において開催される取引会において入札により行われるものである。
2：価格は、1等、包装代（紙袋）含む関東着基準であり、取引における成約価格を取引数量により加重平均したものである。
3：「－」は、同社のホームページにおいて非公表を示す。

３．小売・消費段階の動向

（1） 小売価格・消費者物価の推移

① 消費者物価指数の推移

（図）消費者物価指数の推移



注1：図中の実線は、平成22年を100とした数値となる。
　2：図中の数値は、平成23年12月の消費者物価指数となる。
　3：図中の食料とは穀類、魚介類、肉類等を、穀類とは米類、パン、めん類、他の穀類をいう。

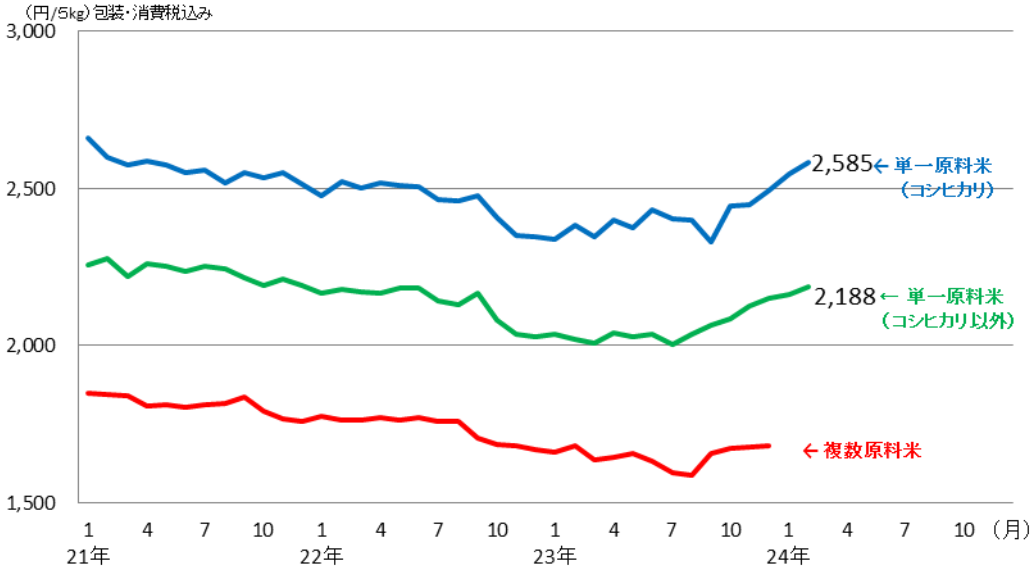
（表）消費者物価指数の推移（対前年同月比）

	食料	対前年同月比	穀類	対前年同月比	米類	対前年同月比	うるち米	対前年同月比	パン	対前年同月比	めん類	対前年同月比
平成17年	96.8	▲0.9%	98.5	▲6.6%	109.8	▲13.3%	109.8	▲12.9%	91.6	▲1.1%	91.2	▲0.9%
平成18年	97.3	0.5%	96.8	▲1.7%	106.4	▲3.1%	106.5	▲3.0%	91.5	▲0.1%	90.1	▲1.2%
平成19年	97.6	0.3%	96.4	▲0.4%	104.5	▲1.8%	104.7	▲1.7%	92.1	0.7%	89.7	▲0.4%
平成20年	100.1	2.6%	102.6	6.4%	103.2	▲1.2%	103.4	▲1.2%	103.8	12.7%	100.2	11.7%
平成21年	100.3	0.2%	103.3	0.7%	103.6	0.4%	103.6	0.2%	104.0	0.2%	101.9	1.7%
平成22年1月	100.0	▲1.5%	101.2	▲3.4%	102.2	▲2.3%	102.3	▲2.3%	101.2	▲5.6%	100.3	▲2.4%
2月	99.8	▲0.9%	101.0	▲3.7%	102.1	▲2.5%	102.1	▲2.6%	100.5	▲6.0%	100.6	▲2.0%
3月	99.9	▲1.1%	100.9	▲4.0%	101.8	▲2.7%	101.8	▲2.8%	100.2	▲6.4%	100.7	▲2.3%
4月	100.6	▲0.3%	100.9	▲3.4%	101.9	▲2.1%	101.9	▲2.1%	100.2	▲5.2%	100.5	▲2.0%
5月	100.3	▲0.7%	100.8	▲2.7%	101.8	▲2.1%	101.8	▲2.1%	99.9	▲3.8%	100.4	▲2.0%
6月	100.1	▲0.4%	100.7	▲2.5%	101.4	▲2.2%	101.5	▲2.1%	100.2	▲3.2%	100.0	▲2.1%
7月	99.2	▲0.6%	100.3	▲2.7%	100.6	▲2.8%	100.6	▲2.8%	99.9	▲3.2%	100.2	▲1.7%
8月	99.6	▲1.3%	100.0	▲2.7%	100.2	▲3.1%	100.2	▲3.1%	100.0	▲2.6%	99.8	▲1.8%
9月	100.5	▲0.2%	99.9	▲2.8%	100.0	▲3.3%	100.0	▲3.3%	99.7	▲2.7%	99.8	▲1.9%
10月	100.6	1.0%	98.8	▲3.3%	97.5	▲5.1%	97.4	▲5.2%	99.5	▲2.6%	99.6	▲1.7%
11月	100.2	1.4%	98.2	▲3.4%	95.8	▲6.5%	95.6	▲6.7%	99.7	▲1.9%	99.4	▲1.1%
12月	99.3	0.7%	97.3	▲3.9%	94.8	▲7.1%	94.7	▲7.3%	99.2	▲2.3%	98.8	▲1.4%
平成23年1月	100.0	0.0%	97.2	▲4.0%	94.3	▲7.7%	94.3	▲7.8%	99.2	▲2.0%	99.2	▲1.1%
2月	100.1	0.3%	97.1	▲3.9%	94.2	▲7.7%	94.0	▲7.9%	98.8	▲1.7%	99.2	▲1.4%
3月	99.8	▲0.1%	97.1	▲3.8%	93.9	▲7.8%	93.8	▲7.9%	99.1	▲1.1%	98.6	▲2.1%
4月	99.9	▲0.7%	97.9	▲3.0%	94.2	▲7.6%	94.1	▲7.7%	99.8	▲0.4%	99.5	▲1.0%
5月	99.2	▲1.1%	97.6	▲3.2%	94.1	▲7.6%	93.9	▲7.8%	99.3	▲0.6%	99.2	▲1.2%
6月	99.3	▲0.8%	97.6	▲3.1%	94.3	▲7.0%	94.1	▲7.3%	99.6	▲0.6%	99.0	▲1.0%
7月	99.4	0.2%	97.9	▲2.4%	94.1	▲6.5%	94.0	▲6.6%	100.5	0.6%	99.0	▲1.2%
8月	99.4	▲0.2%	98.4	▲1.6%	94.7	▲5.5%	94.6	▲5.6%	101.1	1.1%	99.2	▲0.6%
9月	99.6	▲0.9%	98.8	▲1.1%	95.9	▲4.1%	95.8	▲4.2%	101.0	1.3%	99.4	▲0.4%
10月	100.4	▲0.2%	100.2	1.4%	99.6	2.2%	99.7	2.4%	101.1	1.6%	99.6	0.0%
11月	99.0	▲1.2%	100.7	2.5%	101.3	5.7%	101.5	6.2%	101.1	1.4%	99.7	0.3%
12月	99.2	▲0.1%	100.7	3.5%	101.2	6.8%	101.5	7.2%	101.4	2.2%	99.3	0.5%
平成24年1月	101.0	1.0%	100.9	3.8%	102.0	8.2%	102.3	8.5%	101.3	2.1%	99.5	0.3%

資料：総務省「消費者物価指数」（平成22年基準）
注1：表中の数値は、平成22年を100として指数化したものである。
　2：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
　3：穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。
　4：平成17年から平成21年のデータは年平均、平成22年以降は月次データを用いている。

②　小売物価統計による推移

（図）小売物価統計による推移



（表）小売物価統計による推移

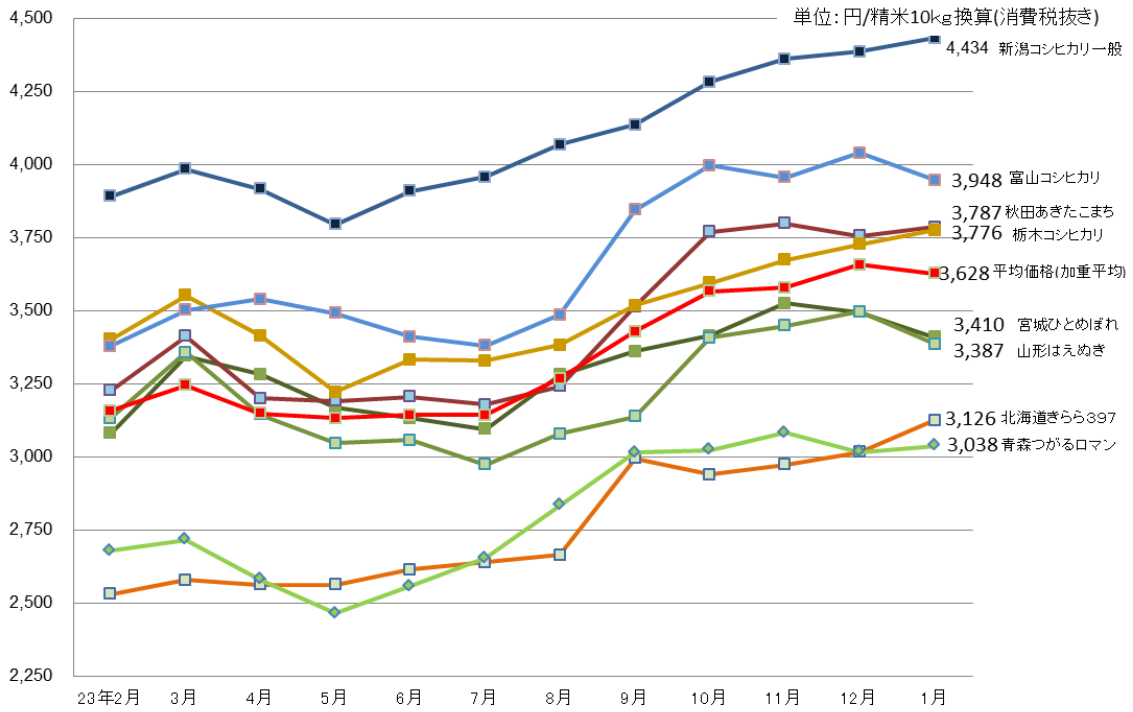
（単位：円/5kg　包装・消費税込み）

	うるち米		
	単一原料米（コシヒカリ）	単一原料米（コシヒカリ以外）	複数原料米
平成17年	2,804	2,375	2,040
平成18年	2,744	2,341	1,996
平成19年	2,670	2,288	1,950
平成20年	2,610	2,270	1,832
平成21年	2,531	2,201	1,812
平成22年1月	2,479	2,166	1,775
2月	2,522	2,178	1,763
3月	2,503	2,173	1,763
4月	2,519	2,167	1,770
5月	2,508	2,185	1,763
6月	2,506	2,183	1,773
7月	2,465	2,141	1,758
8月	2,463	2,130	1,758
9月	2,478	2,167	1,704
10月	2,409	2,082	1,684
11月	2,350	2,037	1,682
12月	2,347	2,027	1,669
平成23年1月	2,338	2,038	1,662
2月	2,382	2,020	1,683
3月	2,347	2,006	1,636
4月	2,399	2,039	1,646
5月	2,375	2,029	1,658
6月	2,432	2,035	1,633
7月	2,405	2,003	1,594
8月	2,399	2,038	1,587
9月	2,330	2,067	1,658
10月	2,445	2,086	1,673
11月	2,448	2,128	1,677
12月	2,493	2,150	1,680
平成24年1月	2,545	2,165	－
2月	2,585	2,188	－

資料：総務省「小売物価統計」
注１：東京都区部の数値である。
　２：特売を除いた価格である。
　３：精米ベースである。
　４：複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

③　小売価格の推移（ＰＯＳデータ）

（図）小売価格の推移



（表）小売価格の推移

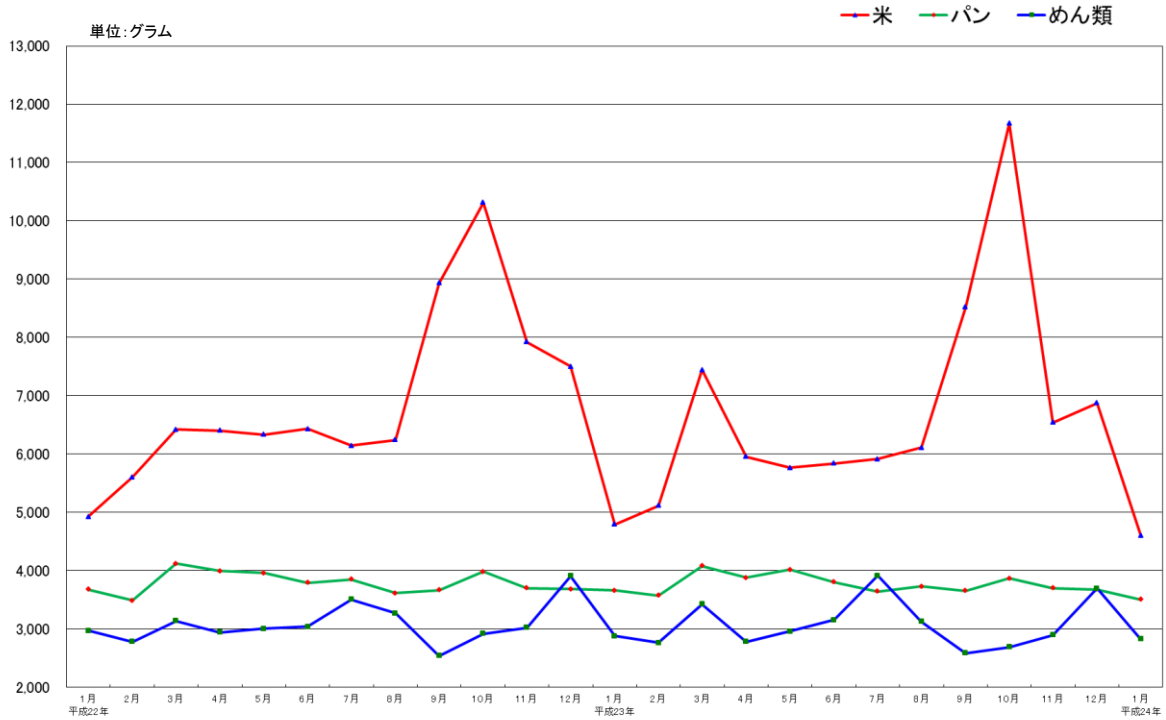
単位：円/精米10kg換算（消費税抜き）

	品種銘柄								
	北海道 きらら397	青森 つがるロマン	宮城 ひとめぼれ	秋田 あきたこまち	山形 はえぬき	栃木 コシヒカリ	新潟 コシヒカリ一般	富山 コシヒカリ	全POS取引 平均価格
23年2月	2,531	2,680	3,082	3,228	3,133	3,403	3,893	3,379	3,159
3月	2,580	2,717	3,346	3,414	3,359	3,553	3,985	3,503	3,246
4月	2,564	2,582	3,284	3,201	3,145	3,416	3,918	3,540	3,149
5月	2,564	2,465	3,169	3,192	3,048	3,222	3,796	3,492	3,134
6月	2,615	2,559	3,133	3,206	3,059	3,334	3,910	3,412	3,144
7月	2,640	2,655	3,095	3,180	2,974	3,329	3,959	3,382	3,145
8月	2,666	2,836	3,281	3,242	3,079	3,383	4,070	3,487	3,269
9月	2,996	3,016	3,362	3,516	3,138	3,519	4,136	3,845	3,430
10月	2,941	3,025	3,415	3,770	3,408	3,595	4,283	3,997	3,568
11月	2,975	3,083	3,526	3,800	3,450	3,675	4,362	3,956	3,580
12月	3,018	3,018	3,496	3,756	3,498	3,727	4,387	4,041	3,658
24年1月	3,126	3,038	3,410	3,787	3,387	3,776	4,434	3,948	3,628

資料：㈱KSP－SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成
注１：㈱KSP－SPが提供するPOSデータは、全国約800店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
２：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
３：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
４：平均価格（加重平均）は、POSデータで把握できる全ての精米の小売価格について加重平均を行った価格である。

（2） 購入数量の推移（家計調査）

（図）購入数量の推移



（表）購入数量の推移

（単位：グラム）

	米		パン		めん類	
	購入数量	対前年同月比	購入数量	対前年同月比	購入数量	対前年同月比
平成20年	88,550	103.8%	44,445	98.2%	35,899	101.2%
平成21年	85,110	96.1%	45,599	102.6%	36,615	102.0%
平成22年1月	4,920	98.0%	3,673	104.3%	2,966	103.9%
2月	5,600	100.2%	3,484	99.7%	2,778	103.3%
3月	6,420	101.3%	4,119	102.2%	3,135	100.4%
4月	6,400	96.7%	3,989	101.1%	2,937	103.0%
5月	6,330	101.8%	3,954	96.6%	3,000	94.2%
6月	6,430	106.1%	3,790	99.1%	3,038	98.8%
7月	6,140	95.8%	3,850	100.1%	3,503	101.3%
8月	6,240	94.4%	3,612	96.2%	3,268	104.6%
9月	8,930	91.6%	3,663	94.4%	2,534	100.2%
10月	10,310	91.7%	3,979	101.0%	2,914	101.2%
11月	7,920	98.5%	3,700	99.0%	3,020	100.9%
12月	7,500	104.9%	3,680	103.1%	3,906	104.4%
平成23年1月	4,790	97.4%	3,656	99.5%	2,875	96.9%
2月	5,110	91.3%	3,573	102.6%	2,763	99.5%
3月	7,440	115.9%	4,076	99.0%	3,424	109.2%
4月	5,950	93.0%	3,878	97.2%	2,776	94.5%
5月	5,760	91.0%	4,015	101.5%	2,958	98.6%
6月	5,840	90.8%	3,804	100.4%	3,149	103.7%
7月	5,910	96.3%	3,640	94.5%	3,911	111.6%
8月	6,110	97.9%	3,724	103.1%	3,122	95.5%
9月	8,520	95.4%	3,653	99.7%	2,583	101.9%
10月	11,670	113.2%	3,866	97.2%	2,686	92.2%
11月	6,540	82.6%	3,700	100.0%	2,893	95.8%
12月	6,870	91.6%	3,672	99.8%	3,691	94.5%
平成24年1月	4,600	96.0%	3,505	95.9%	2,822	98.2%

資料：総務省「家計調査」
注1：二人以上の世帯の数値である。
2：平成20年及び平成21年については、年間の購入数量を示す。
3：精米ベースである。

（３） 米の消費動向（米穀機構による調査：平成23年４月分調査から実施）

○ 本調査は、調査実施機関（(株)マクロミル）のモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

① １人１ヵ月当たり精米消費量の推移

（上段：対前月比、下段：実数（精米g/人））

	平成23年4月（暫定値）	内訳	平成23年5月（暫定値）	内訳	平成23年6月	内訳	平成23年7月	内訳	平成23年8月	内訳	平成23年9月	内訳
合計	－		▲6.0%		▲1.2%		▲7.2%		+0.2%		+3.1%	
	(5,434)	(100.0%)	(5,106)	(100.0%)	5,045	(100.0%)	4,681	(100.0%)	4,692	(100.0%)	4,839	(100.0%)
家庭内	－		▲4.5%		0.9%		▲10.5%		+0.3%		+5.9%	
	(3,536)	(65.1%)	(3,377)	(66.1%)	3,406	(67.5%)	3,047	(65.1%)	3,055	(65.1%)	3,236	(66.9%)
中・外食	－		▲8.9%		▲5.2%		▲0.2%		+0.1%		▲2.1%	
	(1,898)	(34.9%)	(1,729)	(33.9%)	1,639	(32.5%)	1,635	(34.9%)	1,637	(34.9%)	1,603	(33.1%)
中食	－		▲9.6%		▲8.5%		▲4.2%		+0.3%		▲0.8%	
	(1,152)	(21.2%)	(1,041)	(20.4%)	953	(18.9%)	913	(19.5%)	916	(19.5%)	909	(18.8%)
外食	－		▲7.8%		▲0.3%		+5.2%		▲0.3%		▲3.8%	
	(746)	(13.7%)	(688)	(13.5%)	686	(13.6%)	722	(15.4%)	720	(15.4%)	693	(14.3%)

	平成23年10月	内訳	平成23年11月	内訳	平成23年12月	内訳	平成24年1月	内訳
合計	▲1.2%		+1.5%		▲5.4%		+1.4%	
	4,783	(100.0%)	4,856	(100.0%)	4,596	(100.0%)	4,661	(100.0%)
家庭内	▲0.2%		+0.7%		▲8.3%		+3.8%	
	3,229	(67.5%)	3,251	(66.9%)	2,982	(64.9%)	3,094	(66.4%)
中・外食	▲3.1%		+3.3%		+0.6%		▲2.9%	
	1,554	(32.5%)	1,605	(33.1%)	1,614	(35.1%)	1,567	(33.6%)
中食	▲1.9%		+1.2%		▲1.4%		▲4.6%	
	892	(18.6%)	903	(18.6%)	890	(19.4%)	849	(18.2%)
外食	▲4.5%		+6.0%		+3.1%		▲0.8%	
	662	(13.8%)	702	(14.5%)	724	(15.8%)	718	(15.4%)

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」
注１：平成23年４月分及び５月分の調査は、東日本大震災のため東北６県及び茨城県を調査対象外としているため、暫定値として公表。
２：平成23年６月分の調査から東北６県及び茨城県が調査対象に含まれており、1月分の有効調査世帯数は1,401。
３：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握。家庭外消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯類の概量から推計。
４：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成17年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。
５：ラウンドの関係で合計と内訳が合わない場合がある。

② 精米購入時の動向

（ア） 入手経路（複数回答）

（%）

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協（店舗・共同購入含む）	農協（店舗・共同購入含む）	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他
平成23年4月（暫定値）	0.5	51.6	2.4	5.1	0.0	8.1	1.7	4.4	1.8	5.2	5.4	19.2	1.6
平成23年5月（暫定値）	1.3	44.6	3.9	4.3	0.3	8.4	1.2	4.6	1.4	6.4	5.5	24.4	2.9
平成23年6月	1.7	45.5	3.7	5.4	0.3	8.4	2.0	4.0	0.9	5.6	6.6	20.7	2.3
平成23年7月	1.1	43.6	3.5	4.2	0.4	10.4	1.3	3.8	1.2	7.9	5.6	22.4	2.2
平成23年8月	0.8	46.1	4.0	4.8	0.7	10.0	1.1	3.3	1.4	6.0	6.3	22.1	2.1
平成23年9月	0.2	48.3	3.1	3.7	0.2	8.7	1.2	3.5	1.4	7.2	6.2	22.7	2.1
平成23年10月	0.5	44.5	4.5	2.6	0.4	8.8	1.1	3.5	2.0	7.5	4.6	29.6	2.3
平成23年11月	0.0	43.6	2.9	4.4	0.6	7.7	0.9	4.2	1.3	7.3	6.9	28.4	2.6
平成23年12月	0.6	45.2	3.3	3.5	0.8	8.5	1.1	3.6	1.0	7.1	6.7	26.4	2.3
平成24年1月	0.4	44.3	4.8	4.4	0.8	8.1	1.5	3.8	0.4	7.1	7.8	23.9	1.9

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」
注：上記データの留意点については、①の注釈を参照。

（イ） 重視する点（複数回答）

（%）

	産地	品種	年産	価格	食味（おいしさ）	適量感	安全性	精米年月日	栽培方法	製造販売事業者	販売店	その他
平成23年4月（暫定値）	42.6	53.6	31.9	76.0	47.1	8.4	25.4	28.2	6.4	7.2	4.2	7.8
平成23年5月（暫定値）	45.9	52.4	32.7	77.0	48.3	7.2	27.9	27.3	4.7	6.9	3.3	5.3
平成23年6月	44.0	53.7	34.6	78.3	50.6	7.6	24.7	28.5	4.7	7.9	4.0	4.8
平成23年7月	48.0	52.2	33.3	79.6	49.7	8.5	28.4	28.1	4.3	6.6	4.3	3.4
平成23年8月	50.9	51.2	34.8	78.4	47.8	10.3	31.4	25.8	4.4	6.7	4.1	4.8
平成23年9月	47.9	50.2	35.9	78.0	48.0	8.0	32.0	25.1	3.5	7.5	4.7	4.7
平成23年10月	53.5	52.2	37.1	77.5	49.5	10.2	32.5	25.6	4.5	6.8	3.8	4.5
平成23年11月	53.4	50.7	40.9	77.7	49.9	9.2	35.6	26.6	4.3	8.9	4.1	5.2
平成23年12月	52.4	49.4	39.5	79.0	49.2	8.4	34.4	27.8	3.8	7.9	6.4	4.4
平成24年1月	53.7	51.2	39.5	77.1	47.1	11.5	34.3	27.4	5.3	9.2	5.0	4.9

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」
注：上記データの留意点については、①の注釈を参照。

４．生産段階の動向

（１） 国産米の作況・収穫量

年産	作付面積（子実用） ha	10a当たり収量 kg	収穫量（子実用） t	（参考）主食用作付面積 ha	（参考）収穫量（主食用） t	（参考）10a当たり平年収量 kg	（参考）生産数量目標 t	作況指数
18	1 684 000	507	8 546 000	…	…	529	8 330 983	96
19	1 669 000	522	8 705 000	…	…	529	8 284 755	99
20	1 624 000	543	8 815 000	1 596 000	8 658 000	530	8 149 720	102
21	1 621 000	522	8 466 000	1 592 000	8 309 000	530	8 150 020	98
22	1 625 000	522	8 478 000	1 580 000	8 239 000	530	8 129 990	98

出典：農林水産省「平成22年産水陸稲の収穫量」
注1：作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。
2：主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む。)から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積である。
3：「…」は、事実不詳又は調査を欠くものであることを示す。

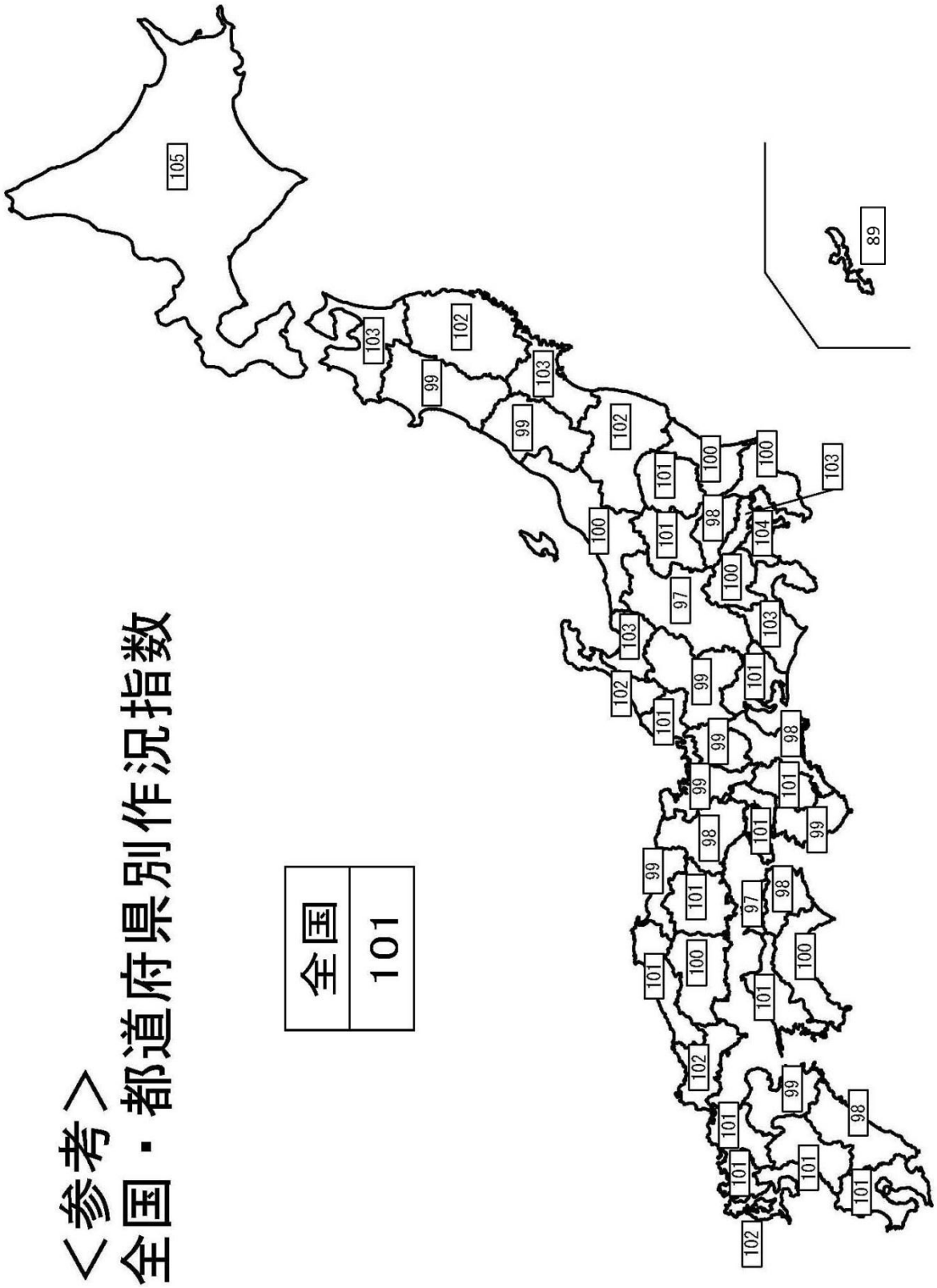
（２） 平成23年産水陸稲の収穫量

① 平成23年産水陸稲の収穫量(全国農業地域別)

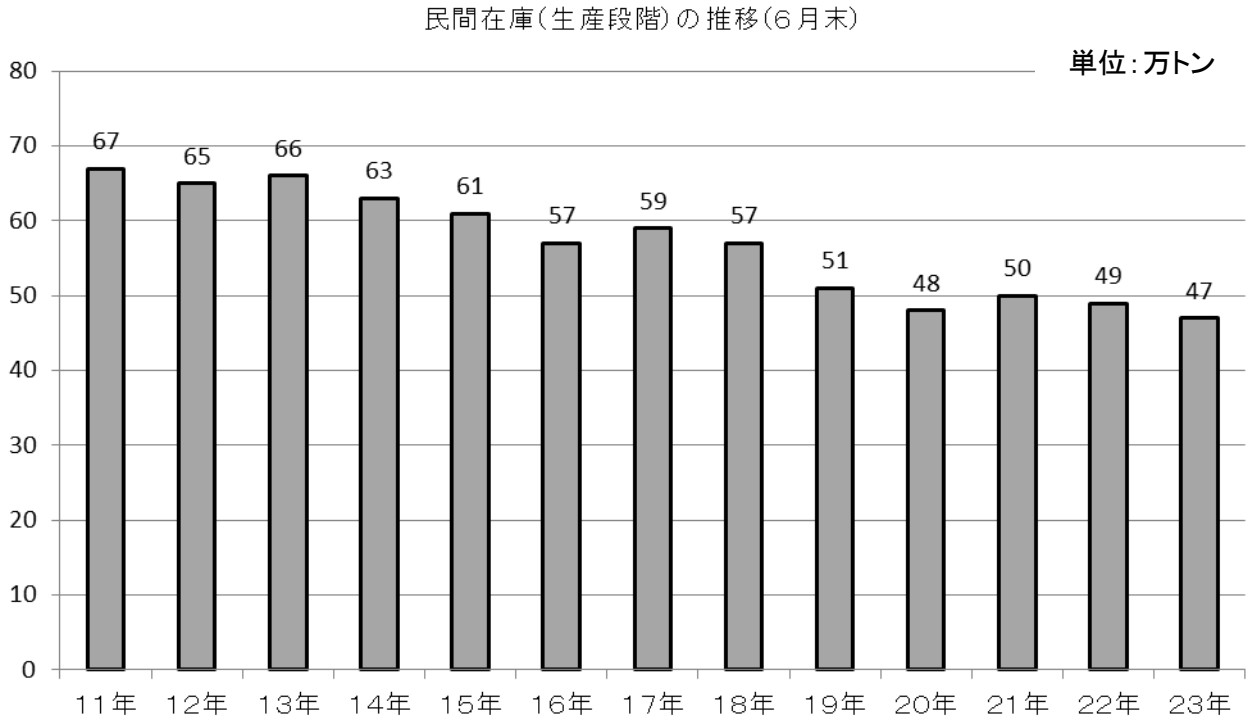
全国農業地域	水陸稲計 作付面積（子実用） ha	水陸稲計 収穫量（子実用） t	水稲 作付面積（子実用）① ha	水稲 10a当たり収量 ② kg	水稲 収穫量（子実用）③＝①×② t	参考 主食用作付面積 ④ ha	参考 収穫量（主食用）⑤＝④×② t	参考 10a当たり平年収量 ⑥ kg	参考 作況指数 ⑦＝②／⑥
全国	1,576,000	8,402,000	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	530	101
北海道	112,900	634,500	112,900	562	634,500	109,100	613,100	535	105
東北	389,000	2,199,000	389,000	565	2,199,000	370,900	2,096,000	558	101
北陸	208,800	1,122,000	208,800	537	1,122,000	195,500	1,050,000	533	101
関東・東山	298,000	1,582,000	295,600	533	1,577,000	289,700	1,546,000	535	100
東海	102,400	514,400	102,400	502	514,400	101,500	510,400	503	100
近畿	109,300	551,200	109,300	504	551,200	107,700	542,800	509	99
中国	115,100	600,400	115,100	522	600,400	113,200	590,500	517	101
四国	56,200	268,600	56,200	478	268,600	55,900	267,100	484	99
九州	183,500	927,000	183,500	505	927,000	181,300	915,400	503	100
沖縄	921	2,540	921	276	2,540	921	2,540	309	89

出典：農林水産省「農林水産統計」
注1：作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。
2：主食用作付見込面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積（見込み）である。
3：収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計 算は一致しない場合がある。

② 全国･都道府県別作況指数



（３） 民間在庫（生産段階）の推移



資料：農林水産省「生産者の米穀在庫等調査」
注：「生産者の米穀現在高等調査」（平成22年以降は「生産者の米穀在庫等調査」）を基に算出(精米在庫量を除く玄米在庫量)

（４） 水稲うるち玄米の検査結果

（単位：トン、％）

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
17	5,047,547	3,788,571	1,000,515	168,455	90,006	75.1	19.8	3.3	1.8
18	4,776,481	3,746,166	822,163	112,475	95,677	78.4	17.2	2.4	2.0
19	4,805,870	3,826,432	795,452	95,082	88,903	79.6	16.6	2.0	1.8
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,186,248	3,388,721	682,972	54,546	60,009	80.9	16.3	1.3	1.4

資料：農林水産省とりまとめ
注1：「一等比率」とは、農産物検査法に基づく検査の結果、一等に格付けされた割合である。
2：23年産については、平成24年1月31日現在（速報値）

（５）加工用米及び新規需要米の取組状況

①　加工用米の生産量

単位:トン

	うるち米	もち米	合計
平成16年産	117,837	4,404	122,241
平成17年産	123,996	4,738	128,734
平成18年産	140,596	7,996	148,592
平成19年産	152,145	10,659	162,804
平成20年産	138,895	10,154	149,048
平成21年産	134,389	6,779	141,168
平成22年産	190,883	21,945	212,829
平成23年産	122,741	32,233	154,973

資料: 農林水産省「加工用米生産量」
注1: 四捨五入の関係で個々の数字の積み上げと合計が一致しない場合がある。
　2: 平成23年産については、10月15日現在。

②　新規需要米の用途別認定状況

用途区分	平成20年産		平成21年産		平成22年産			平成23年産	
	認定数量(トン)	認定面積(ha)	認定数量(トン)	認定面積(ha)	認定数量(トン)	認定面積(ha)	生産量(トン)	認定数量(トン)	認定面積(ha)
米粉用米	566	108	13,041	2,401	27,796	4,957	24,639	40,311	7,324
飼料用米	8,020	1,410	23,264	4,123	81,237	14,883	68,011	183,033	33,955
ＷＣＳ用稲（稲発酵粗飼料用稲）	―	9,089	―	10,203	―	15,939	―	―	23,086
バイオエタノール用米	2,426	303	2,314	295	2,940	397	2,488	2,998	415
輸出用米	391	74	926	164	2,184	388	1,959	1,626	287
その他（わら専用稲、青刈り用稲等）	982	1,330	1,108	956	694	508	535	852	501
合計	12,386	12,314	40,654	18,142	114,851	37,072	97,632	228,820	65,569

資料: 農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」
注1:WCS用稲、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため認定数量及び生産量はなし。
2: 四捨五入の関係で個々の数字の積み上げと合計が一致しない場合がある。
3:「その他」の取組には、主食用以外の用途のための種子等、その用途が主食用米の需給に影響を及ぼさないものの取組が含まれる。
4:生産量については平成22年産から徴収したものであり、実際の流通量と一致（見込み含む）。
5:平成23年産については10月15日現在。

５．備蓄米及びMA米の動向

（１）国内産備蓄米の売買数量及び在庫数量

①　23年産米の政府備蓄米買入入札数量（都道府県別契約数量）

単位:トン

産地	配分優先枠	優先枠入札の結果		一般枠入札の結果		合計数量	
北海道	7,000		7,000		856		7,856
青森	―				2,400		2,400
岩手	6,700		5,683				5,683
宮城	5,900	(5,700)	0			(5,700)	0
秋田	11,300		11,274		1,959		13,233
山形	3,900		3,900		3,789		7,689
福島	―			(1,200)	120	(1,200)	120
茨城	―				90		90
栃木	―				2,496		2,496
千葉	―				100		100
東京	100						0
新潟	―				10,122		10,122
富山	6,200		6,200		1,721		7,921
石川	―				1,120		1,120
福井	―				2,434		2,434
長野	―				102		102
三重	―				697		697
滋賀	1,200						0
岡山	―				183		183
広島	2,100		1,017				1,017
山口	5,100		3,003				3,003
香川	1,300		585				585
愛媛	1,000		422				422
福岡	1,300		120				120
佐賀	5,700		188				188
熊本	500				57		57
大分	300						0
宮崎	500						0
鹿児島	700						0
合計	60,800	(5,700)	39,392	(1,200)	28,246	(6,900)	67,638

注:（　）内の数値は、震災により契約解除となったものである。

②　24年産国内産米穀の政府買入入札の結果（第4回　平成24年3月6日実施）

1　入札者数等

入札参加資格者数	88
入札者数	12
落札者数	12

2　落札数量等

単位:トン

買入対象米穀の産地	提示数量	入札数量	落札数量
北海道	2,188	96	96
青森	1,026	1,014	1,014
岩手	576	0	0
宮城	1,748	0	0
秋田	3,967	252	252
福島	1,268	0	0
栃木	652	0	0
新潟	687	165	165
石川	480	120	120
福井	1,130	0	0
広島	417	0	0
山口	2,227	0	0
香川	590	0	0
愛媛	75	0	0
熊本	60	0	0
道県別枠計①	17,091	1,647	1,647
指定なし②	108,194	3,648	3,648
合計（①＋②）	125,285	5,295	5,295

（参考）　第1回から第4回の入札における落札状況

単位:トン

買入対象米穀の産地	買入予定数量	第1回（1月19日）	第2回（2月7日）	第3回（2月21日）	第4回（3月6日）	落札数量累計
指定なし	125,460	2,004	11,571	3,730	3,648	20,953
道県別枠	74,540	16,367	30,357	10,686	1,647	59,057
合　計	200,000	18,371	41,928	14,416	5,295	80,010

※　岡山産の第1回落札残数量（30トン）、千葉産の第2回落札残数量（1トン）、長野産の第3回落札残数量（7トン）及び三重産の第3回落札残数量（1トン）については、最小申込数量（50トン）満たないため、「指定なし」に繰り入れた。

③　国内産備蓄米の売渡数量

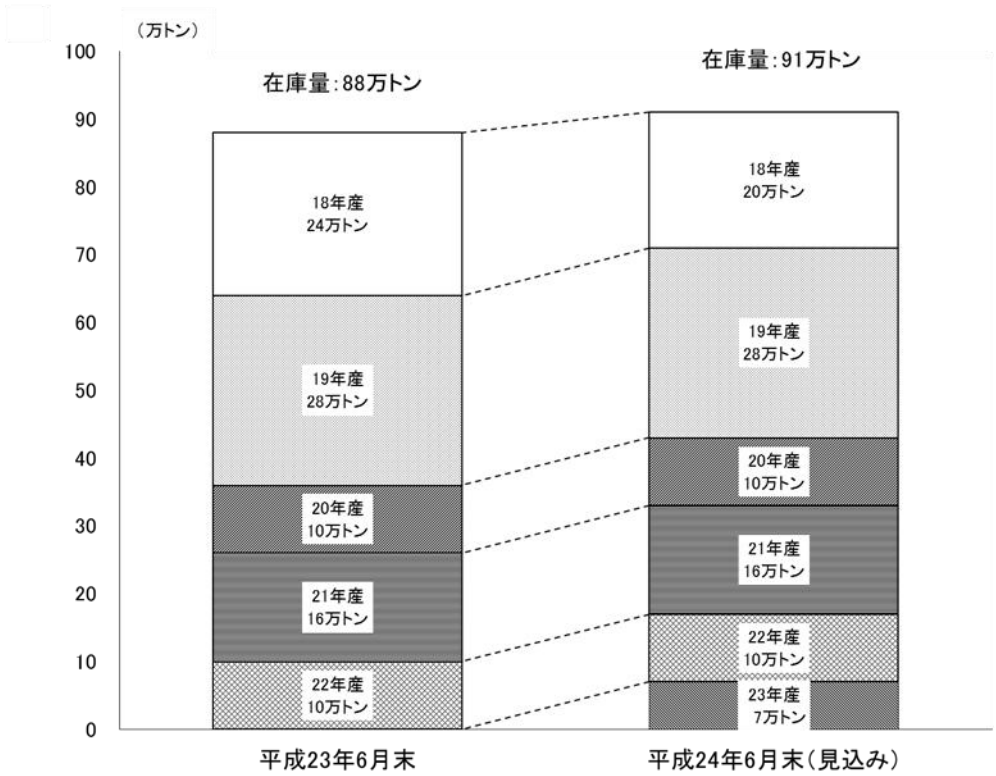
最近における政府備蓄米（主食用）の販売状況

（単位：千トン）

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計
19/20年	17	24	20	21	20	7	0	1	0	1	0	6	117
20/21年	26	34	15	14	16	17	13	13	13	14	10	11	196
21/22年	6	4	4	3	3	2	1	2	2	1	2	1	31
22/23年	1	1	1	0	0	0	0	0	―	―	―	―	3

資料：農林水産省「最近における政府備蓄米（主食用）の販売状況」
注１：期間については、22/23年であれば、平成22年7月～23年6月である。
　２：販売数量は実際に卸売業者等が引き取った実績であり、契約数量とは異なる。
　３：19/20年の11月・12月については緊急対策による販売停止以前に契約された分の引取数量であり、1～5月については矯正施設向けに販売し、引き取られた数量である。
　４：平成23年1月をもって、政府所有国内産米穀（主食用）の販売入札（2月引取分まで）を終了している。

④　政府備蓄米の在庫の状況（平成23年6月末現在）



資料：農林水産省調べ
注１：うるち玄米の数量である。
　２：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

（２） ＭＡ米（一般・ＳＢＳ）の動向

① ＭＡ米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：万玄米トン）

	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
米国	19	23	29	32	34	36	36	36	36
タイ	11	14	15	15	16	17	15	15	15
中国	3	4	5	8	9	10	14	11	11
オーストラリア	9	9	9	11	11	12	11	10	9
その他	1	1	2	2	2	2	1	5	5
合計	43	51	60	68	72	77	77	77	76
（うち一般輸入）	42	49	54	55	59	63	66	71	65
（うちSBS輸入）※	1	2	6	12	12	12	10	5	10

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度（2月末現在）
米国	36	36	36	36	43	36	36	31
タイ	19	19	18	25	27	33	35	19
中国	10	9	8	8	7	7	2	6
オーストラリア	2	2	5	－	－	－	4	7
その他	10	11	10	1	0	1	0	4
合計	77	77	77	70	77	77	77	67
（うち一般輸入）	66	66	66	59	66	66	72	56
（うちSBS輸入）※	9	10	10	10	10	10	4	10

資料：農林水産省「ミニマム・アクセス米をめぐる状況」
　　※ＳＢＳ輸入数量の単位は万実トン。
注１：各年度の輸入契約数量の推移。なお、平成23年度については、入札結果を含んだ数値である。
　２：実トンと玄米トンのため合計は一致しないことがある。
（参考）MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

② 一般輸入米（加工原材料用）の販売状況(平成23年度)

（単位 ： トン）

	うるち	もち
4～6月分 （平成23年3月11日、16日及び22日実施分）	18,286	1,342
4月分 （平成23年3月11日、16日及び22日実施分）	1,118	173
5月分 （平成23年4月13日、19日実施分）	1,483	236
6月分 （平成23年5月13日、20日実施分）	2,301	165
7～9月分 （平成23年6月10日、16日及び22日実施分）	19,372	729
7月分 （平成23年6月10日、16日及び22日実施分）	595	332
8月分 （平成23年7月12日、19日実施分）	791	230
9月分 （平成23年8月9日、18日実施分）	1,254	291
10～12月分 （平成23年9月13日、16日及び22日実施分）	20,480	800
10月分 （平成23年9月13日、16日及び22日実施分）	920	428
11月分 （平成23年10月11日、及び18日実施分）	924	246
12月分 （平成23年11月8日、15日、24日及び30日実施分）	1,450	486
合　計	68,974	5,458
	74,432	

資料：農林水産省「加工用原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の定例販売の結果について」、「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

③ SBS米の販売状況(平成23年度)

（単位：トン）

		アメリカ		タイ		中国		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回（平成23年9月21日）	一般米	3,386	1,326	238	－	13,802	－	－	－	18,752
	砕精米	2,276	414	660	－	100	－	－	－	3,450
第2回（平成23年10月28日）	一般米	1,484	1,186	316	－	17,034	－	1,118	－	21,138
	砕精米	4,184	216	600	－	－	－	－	－	5,000
第3回（平成23年12月9日）	一般米	1,534	2,074	984	－	14,630	－	5,778	－	25,000
	砕精米	1,444	252	900	2,188	216	－	－	－	5,000
第4回（平成24年2月10日）	一般米	1,086	738	500	80	4,997	－	10,259	－	17,660
	砕精米	2,220	108	160	1,196	316	－	－	－	4,000
合計	一般米	7,490	5,324	2,038	80	50,463	0	17,155	0	82,550
	砕精米	10,124	990	2,320	3,384	632	0	0	0	17,450
平成22年度計 （参考）	一般米	2,904	2,228	1,880	120	2,936	0	538	0	10,606
	砕精米	16,438	640	9,010	0	532	0	0	0	26,620

資料：農林水産省「平成22年度輸入米に係るSBSの結果の概要」、「平成23年度輸入米に係るSBSの結果の概要」